

+

19 地域 京B

第3種郵便物認可

ノーベル物理学賞 独のベドノルツ博士

「限界に接したら疑問を抱け」

ノーベル賞受賞に至るまでの研究について語るベドノルツ博士
(京都市左京区・京大)



京大で若者にエール

ノーベル物理学賞受賞者の、ドイツの物理学者ヨハネス・ゲオルク・ベドノルツ博士が28日、京都市左京区の京大で日本の若者に向けて講演した。研究テーマの高温超伝導体の発見までの経緯を説明し、「失敗はいいことで大切なのはそれと学んで生かすことだ」とエールを送った。

ベドノルツ博士は、1987年にノーベル賞を受賞。今回は若手研究者の育成のために文部科学省の科学研究費補助金事業の一環で招かれた。

ベドノルツ博士は超伝導の研究で材料の選定に苦心し、失敗ばかりしていたと振り返り、「図書館に行くと昔の論文をめぐっていた中にヒントがあった。同じデータでも違う方向から見るとが重要だ」と指摘した。

また、研究で成功す

るためには「限界に接した時に『本当にそう

なのか』と疑問を抱くことが大事だ。想像力と直感があれば新しい革新的な概念を作り出せる」と力強く語った。

(仲屋聡)